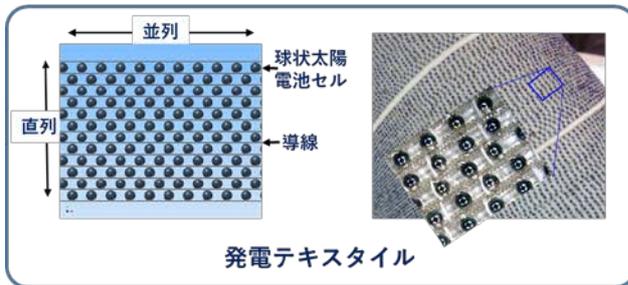


■「新市場創造型標準化制度」の活用が決定したテーマ

(1) 球状太陽電池を用いた発電テキスタイル及びセルメッシュ・ガラスモジュールの標準化

<p>○テーマ名：<u>球状太陽電池を用いた発電テキスタイル及びセルメッシュ・ガラスモジュールの標準化</u></p>	<p>○提案者：スフェラーパワー株式会社【京都府】 (パートナー機関：福井県工業技術センター)</p>
<p>○テーマの概要・期待される効果：</p> <p>小さな球体の形状を持つ球状太陽電池は、その配置方法等により様々な製品での発電を可能とし、また、幅広い角度の太陽光を発電に用いることができることから効果的な発電が期待されています。</p> <p>普及が進む平板の太陽電池は、その発電性能の評価に用いられる試験方法等を定めた規格が存在し、それらを基にした認証制度を運用することにより、その普及に貢献してきました。しかし、球状太陽電池については、その発電性能を評価する規格がなく、また、既存の平板用の規格では十分にその特性を評価できないことから、特徴を踏まえた評価を可能とする試験方法等の規格化を検討します。</p> <p>具体的に、布や板ガラスに埋め込む形で球状太陽電池を用いる製品について、評価に用いる規格開発を進め、適切な評価を実施できる市場環境を整備することで、当該太陽電池製品の市場拡大が期待されます。</p>	



- 1) 直径1.2/1.8mmの球状太陽電池セルに導電糸を接続させた発電糸を織り込んだ発電テキスタイル
- 2) フィルム基盤上に球状太陽電池セルを結線したセルメッシュ・ガラスモジュールの製品規格及び発電性能試験方法を標準化

【写真提供；スフェラーパワー株式会社】

(2) 高信頼性フレキシブルプリント配線板¹の折り畳み試験方法

○テーマ名： <u>高信頼性フレキシブルプリント配線板(FPC)の折り畳み試験方法に関する標準化</u>	○提案者：ユアサシステム機器株式会社【岡山県】
------------------------------------------------------	-------------------------

○テーマの概要・期待される効果：

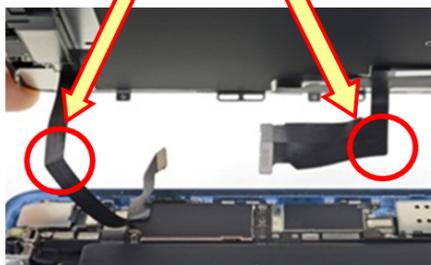
近年、電子機器の薄型・狭小化に伴い、FPC(フレキシブルプリント配線板)が折り畳まれて使用される例が増加しています。折られた状態のFPCは、回路の断線やフィルムの破断等のリスクが高くなり、不具合につながる恐れが指摘されています。

現在では、折り畳んだ状態のFPCを評価する統一された試験規格がなく、完成品メーカー、FPCメーカー、銅箔メーカーが独自の方法を定めて評価を実施しています。

本標準化により、関係企業間における評価活用の効率化が図られるとともに、FPC製品の信頼性の向上が期待されます。

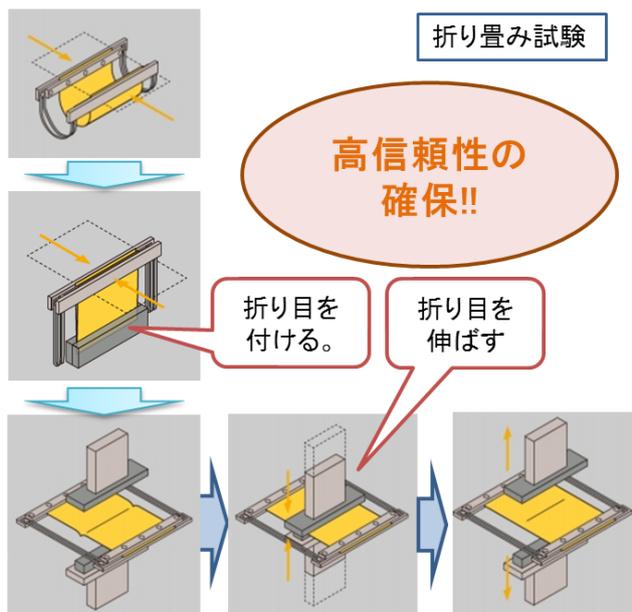
近年急増中のFPCの実装方法

折り目を付けて組み込み



現在、必要不可欠なFPCの試験方法

折り畳み試験



【写真・資料提供；ユアサシステム機器株式会社】

¹ 絶縁性を持った薄く柔らかいベースフィルム（ポリイミド等）と銅箔等の導電性金属を貼り合わせた基材に電気回路を形成した基板